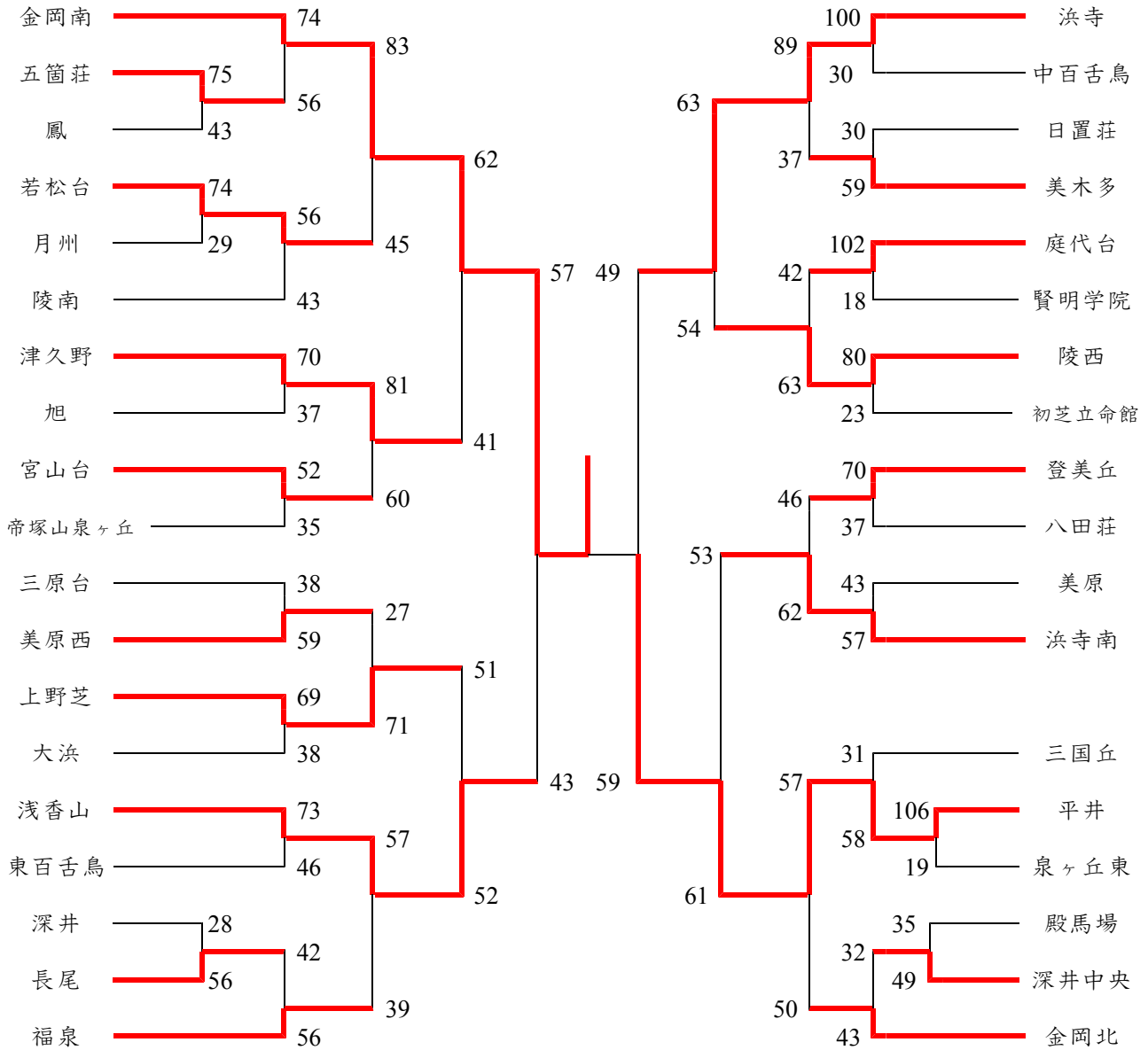


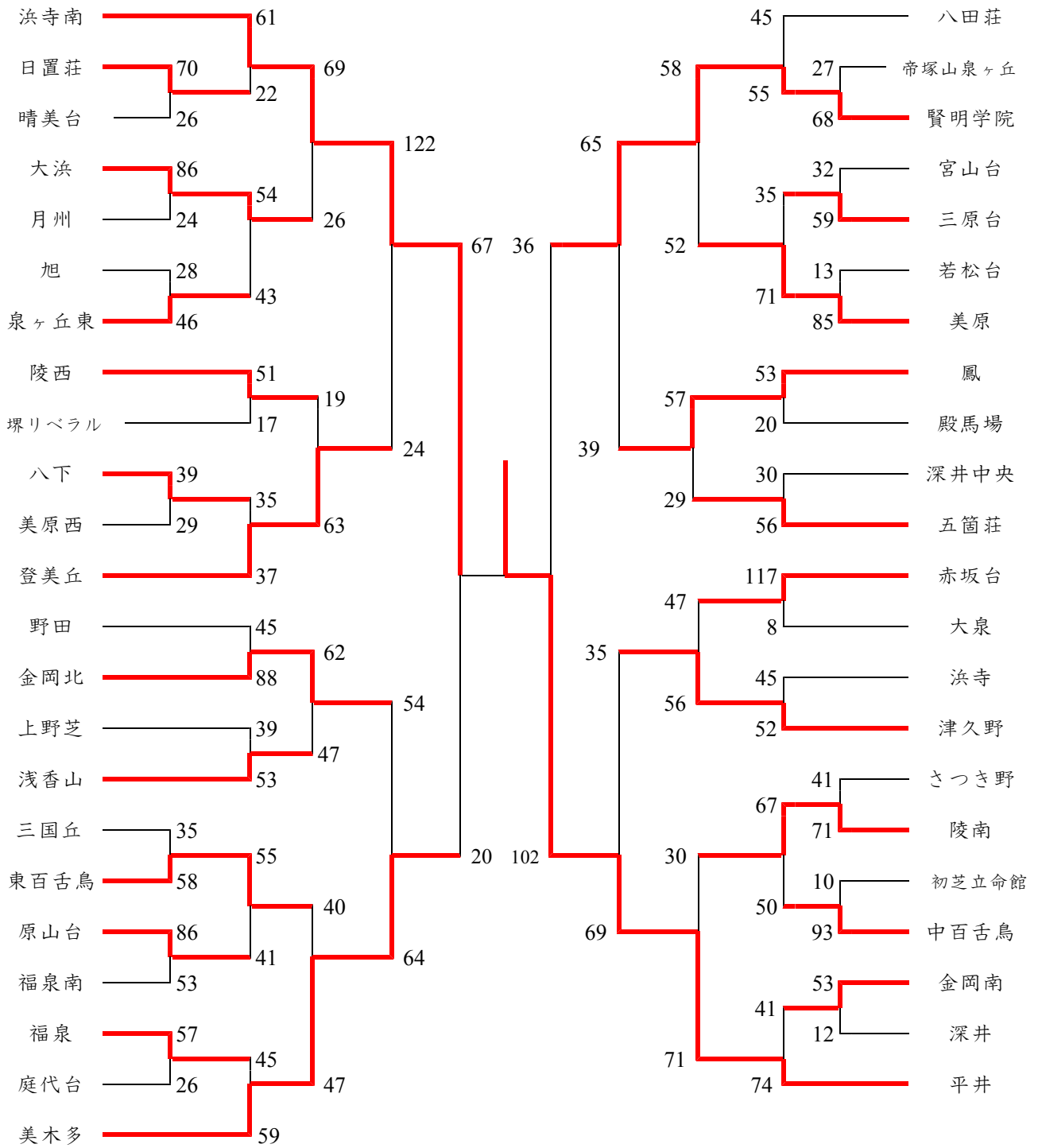
2018年度 堺市総合体育大会

男子の部



		決勝			
金岡南	71	-	58	平井	
	22	10	16		
	17	20	9		
	19	30	14		
	13	40	19		

女子の部



		決勝		
浜寺南	4 6	-	4 8	平井
	1 0	1 0	8	
	1 5	2 0	1 0	
	1 1	3 0	1 6	
	1 0	4 0	1 4	

男子決勝戦評

金岡南④⑤⑥⑦⑧、平井④⑤⑥⑦⑫でスタート。

序盤は速攻や3Pで平井が流れをつかもうとする。対する金岡南はリバウンドをがんばり、相手にセカンドチャンスを与えず、高確率で自分たちのシュートを沈めて流れをつくっていく。両チームともシュートをよく決め、流れをゆずらない展開ではあるが、より高確率でシュートを決めた金岡南が22-16とリードして1Q終了。

2Qが始まると、金岡南が積極的に攻勢をしかける。攻防の中で得たフリースローを高確率で決め、じわりと点差が開いていく。2Q終盤、1on1で流れを取り返そうと平井もがんばるが、点差を詰めるまでには至らず、39-25の14点を金岡南がリードして前半終了。

3Qは、平井がリングに向かって積極的にラリーをはやめ、ペースをつかみにかかるが、金岡南も対抗し、点差の変わらない時間帯が続く。終盤リバウンドで流れをつかんだ金岡南がリードを広げ、3Q終了。

4Q、平井は追いつこうと速い展開でバスケットを仕掛けるが、金岡南はなかなかボールを失うまでには至らず、点差は縮まらない。一度つかんだ流れを失わなかった金岡南が堂々の二連覇で平成最後の堺市総体が幕を閉じた。

(岩橋、福嶋)

女子決勝戦評

淡色 浜寺南 vs 濃色 平井

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑥⑩⑫⑭で堺総体女子決勝が始まる。

浜寺南はハーフコートマンツーマン、平井はオールコートマンツーマンでスタート。平井のDefが厳しくインサイドに入れない浜寺南はフリースローや④の3Pで得点していく。平井は④⑥がゲームコントロールするもののミスが多く得点が伸びない。両チーム⑫が踏ん張り1Qを10-8で終了。

2Qに入り、浜寺南は④のドライブと3Pでリードを広げる。平井は⑫が1on1やリバウンドを頑張り追いつがるが、浜寺南の④⑧が3Pを立て続けに決め2Qを25-18とリードを広げて終了する。

3Q、浜寺南⑥が3Pを決め10点差となるが、平井⑫が奮起し得点、アシストで追い上げる。浜寺南はシュートが外れるもののリバウンドシュートで粘りを見せ逆転は許さない。3Qを36-34で終了し4Qへ。

4Q、浜寺南⑤がゴール下で頑張り、リードを広げるが、平井は④が3Pを含む3連続ゴールで逆転に成功する。浜寺南も⑤、⑫がリバウンドを頑張り粘りを見せるが、平井は⑫が効果的なシュート、アシストを決めて抜け出し、最終スコアは浜寺南 46-48 平井で平井が優勝を飾った。

(佐藤、福嶋)